

## 神楽舞フェス in 飯南 2026

石見神楽部は、令和8年8月22日（土）に赤名農村環境改善センターで開催された「神楽舞フェス in 飯南 2026」にて石見神楽を上演して参りました。

「神楽舞」は「かぐらぶ」と読み、「神楽を愛する(love)」という思いを込めて名づけられているそうです。このイベントには一昨年の初回開催から続けて参加していますが、今年は「未来を担う若者の挑戦」と副題のついた、基本的には高校生までの団体が出演する「第1舞（だいいちぶ）神楽舞」と、「大人が魅せる本気の舞」と副題のついた近隣地域の神楽社中さんが上演される「第2舞（だいにぶ）神楽フェス」の二部構成になっていました。第2舞のほうには琉球國祭り太鼓も上演されていました。

各上演前には、司会進行の方による部員代表者へのインタビューがありました。邇摩高校の魅力や今回の演目の見どころ、今後の部活動の上演予定などに関するインタビューでした。インタビューのあと「塵輪」を上演いたしました。暑い中練習してきた成果を発揮できたと思います。

今回も、たくさんのOBやOGの方々が出発時から付き添ってお手伝いしてくださいました。ありがとうございました。

引き続き、邇摩高校石見神楽部へのご声援をよろしくお願いします。

